

全日ア連競技第 25-015 号

2025年 5月 29日

加盟団体各位

(公社)全日本アーチェリー連盟

代表理事 田 中 伸 周

[公 印 省 略]

本連盟主催競技会における監督・コーチの公認スポーツ指導者資格義務付けについて

日頃より本連盟の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて昨年お知らせした通り、2025 年度より本連盟主催の下記競技会において、監督・コーチ(以下、帯同コーチ)に原則として(公財)日本スポーツ協会(JSPO)公認スポーツ指導者の資格所有を義務付けることとなりました。

また、競技会の質を高め、同時に選手が安全に、かつ安心して競技を行える環境を整備するために、監督・コーチの皆さまにもエントリーフィという形で支えていただきたく存じます。

何とぞご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

1. 2025 年度より帯同コーチの資格義務付けとなる競技会

- ◆ 日本代表選考会
- ◆ 全日本ターゲット選手権大会
- ◆ 全日本フィールド選手権大会
- ◆ 全日本室内選手権大会
- ◆ 全日本社会人ターゲット選手権大会
- ◆ 全日本社会人フィールド選手権大会

2. 必要となる資格

日本代表選考会は(公財)日本スポーツ協会(JSPO)公認スポーツ指導者コーチ 2 以上の資格

それ以外の上記競技会は JSPO コーチ 1 以上の資格

3. 2029 年度までの時限措置について

日本代表選考会については JSPO コーチ 1 資格者を帯同コーチと認めます。

また、上記競技会すべてにおいて、すでにコーチ養成講習会を修了し、登録待ちの方も資格を有する者とみなします。

4. 全日本小中学生大会について

2030 年度から JSPO スタートコーチ以上の資格が必要となりますが、2029 年度までの時限措置として連盟登録者を帯同コーチと認めます。

5. 帯同コーチのエントリーフィ

1 申請につき5,000円

6. 申請方法

- ① 帯同コーチの申請は、当該選手または選手の所属団体(勤務先・学校・チーム)が行う。
- ② 申請はコーチ 1 名に対して行うものとし、選手の所属団体(勤務先・学校・チーム)ごとに申請する。
 - 一人のコーチが、所属団体(勤務先・学校・チーム)が異なる複数の選手の帯同コーチをする場合は、選手の所属ごとに申請を行う
 - 一人のコーチが、同一所属団体(勤務先・学校・チーム)の複数の選手の帯同コーチをする場合は、1 回の申請となる
- ③ 競技場内に入場可能な帯同コーチは、所属団体(勤務先・学校・チーム)の競技会出場選手の総数を超えない人数とする。ただし、コーチエリアに入場可能な人数は、選手 1 名に対して帯同コーチ1名とする。

7. 帯同コーチ申請手順

- ① 大会要項とは別途、監督・コーチの申請要項を発信
- ② 要項に従って申請
- ③ 期日までにエントリーフィを納入
- ④ 競技会当日に受付にて会員証および JSPO コーチ登録証を提示してコーチ証を受け取る

以上